

お客様導入事例 Case Study

株式会社マピオン



■企業情報

社名	株式会社マピオン
設立年月日	1997年1月20日
所在地	東京都港区芝浦3-19-26 トッパン芝浦ビル
代表者名	佐藤 孝也
事業内容	Web広告事業、地図ASP/ライセンス事業、 モバイルコンシューマー事業

+ 導入背景・課題

[導入背景] 弊社は、情報サービスとサポートを通して社会を安全で豊かにすることを企業理念としています。地図情報を主力とし、他のインターネット企業と同様にテキストと画像を集約した情報サービスを展開してきました。ITの進歩とユーザーニーズに合った新たな情報サービス検討した結果、今までのテキスト+画像の情報サービスに+αとして音声を組み合わせた新たなサービス「WALLOP(ワロップ)」をスタートいたしました。これは、インターネットラジオというエンタメ要素に、これまで弊社が蓄積してきた位置情報ビジネスを連動させたサービスです。将来的には、日本国内志向的な情報サービスではなく、世界中どこでも信頼に足る情報として受けとめられるトランスナショナルなメディア展開を目指しています。

[課題] 世界を視野に入れた音声の情報発信サービスを考えたときの最大の課題は『言語の壁』です。極端に安い編集加工における低コストモデル確立するため最適手段を検討して参りました。



株式会社マピオン
福家 三喜雄氏

+ 翻訳ソリューション・ポイント

「WALLOP(ワロップ)」は、パーソナリティが配信する番組をリスナーが基本無料で聞くことのできるスマートフォンに特化した音声サービスです。パーソナリティともっと近づきたい、番組に参加したいと思うリスナーは有料で会員になることができるので、パーソナリティも番組のファン数などが分かり、責任が生まれるのではと考えています。

今後は、日本に在住している外国人向けの番組や、海外での現地に住む日本人向け番組なども実施していければと思います。サービス構想当初から、日本人が外国語を覚えて外国へ発信したり、番組を聴くよりは、機械翻訳で番組の意味をとっていくほうが望ましいと考えていました。そうすると、パーソナリティ独自の言い回しや、単語を辞書登録して、個別の訳が出る翻訳システムが求められます。クロスランゲージに問合せしたのは、大規模サイトへの導入実績が多いのと、音声認識会社からの情報があったからです。

実際に担当営業の方から説明を聞くと様々な情報や導入実績が豊富で、弊社の課題であったパーソナリティ毎の独自の辞書化も問題なく実現しそうだと感じられました。最終的には日本語と英語だけの翻訳だけでなく全部で9言語の翻訳エンジンを保有している事、営業担当からのレスポンスが良い事、API仕様書がしっかりしており弊社技術者も問題が無さそうなのを確認して、他社評価を行う必要も感じられず導入を決めました。



+ 今後の展望

2012年4月オープンした「WALLOP(ワロップ)」ですが、次の展開としては、現在は押上にあるスタジオ拠点を日本全国に展開し、リスナーとパーソナリティがもっと近づける環境を増やしていきたいと思っています。また、この『ワロップ』のビジネスモデルは日本だけでなく世界中に展開できるシステムだと確信しております。

翻訳部分に関しては、音声認識からのテキストデータを、翻訳システムにデータ送信。そのデータを音声認識システムにかける事で、パーソナリティの言葉を機械翻訳して発音する事が出来ているのですが、それぞれのシステムの品質については課題が多いと思っております。また、システム導入前に頂いたアドバイスで機械翻訳に適しているのはきれいな原文と聞いてましたが、パーソナリティは全てが口語で、尚且ついち早くトレンドを取り入れた内容になるため、品質の向上には継続的な作業が必要です。幸い、クロスランゲージには辞書構築専任のスタッフチームがあるので、随時ご相談しようかと思っております。この弊社の新サービスでは将来的に、その国、その土地で、その場所の情報が受信できるガイドコンテンツとしての役割を果たすようになることなども視野にいらしております。また、その場所の位置情報に連動して配信される情報や広告は、テキストだけでなく音声でも配信されることで新たなフラッシュマーケティングになる可能性も秘めていると思います。

+ システム構成

